

## 日本建築学会北海道支部 2013 年度第 1 回支部役員会 議事録

日時：2013 年 8 月 2 日（金）18：30-20：00

場所：北海道建設会館 6 階 支部事務所会議室

出席（敬称略）：

支部長：岡田

常議員：安藤，佐伯，島田，森，遠藤，白井，高松，戸松，山田

代議員：－

支部監事：－

総務委員長：小澤

学術委員長：－

事務局：菊地

司会：森

記録：白井

次回：10/24(木) 17:30～常任幹事会，18:30～同役員会

### 《報告事項》

#### 0. 岡田支部長より挨拶文（建築雑誌 9 月号建築年報より）

岡田支部長より，支部規定改正，支部活動資金，今後の支部活動の活性化のための取組について説明がなされた。今年度の取組案として，各種支部賞の創設（⇒学術委員会：森委員を中心），HP による情報公開の推進（⇒HP 委員会：斉藤委員を中心），等を考えていることの説明がなされた。

#### 1. 前回常議員会議事録確認

資料 1-1

安藤委員より前回議事録の説明がなされ，承認された。

#### 2. 理事会報告

資料 1-2

岡田支部長より，5，6，7 月理事会について報告があった。本部の HP を見ると本部が何をやっているか分かる。今後は支部でも HP で情報公開を進めたい。支部 HP の更新を頻繁に行うためにはブログ形式が便利である。サーバーがブログ形式に対応可能かを確認する必要がある（⇒森委員）。

#### 3. 支部長会議報告

資料 1-3

岡田支部長より，第 1 回支部長会議について報告があった。支部でも若手会員の活躍の場をつくる必要がある（例えば，支部研で修士学生にも司会を担当してもらう，等）。

#### 4. 支部経理報告

資料 1-4

小澤委員より，経理について報告があった。現在の執行率が 3.5%と小さいのは，本年度は大会があるため分母が大きいためである。

5. 学術委員会報告 資料なし  
報告事項なし（今年度の学術委員会はまだ開催されていないため）。
6. 北海道建築設計会議報告 資料 1-5  
最上委員欠席のため，最上委員より後日メールにて報告する。
- 《審議・承認事項》
7. 2013 年度道内工業高校卒業設計巡回展 資料 1-6  
佐伯委員より，平成 24 年度道内工業高校卒業設計優秀作品巡回展示日程について説明があり，承認された。
8. 構造・材料施工専門委員会見学会の申請について 資料 1-7  
構造専門委員会・材料施工専門委員会共通見学会（6/24 実施）の申請について，事後承認となるが承認された。
9. 建築計画専門委員会 WG の設置申請について 資料 1-8  
「30 年後の北海道の生活と住まい WG」の設置申請について審議がなされた。審議の結果，単年度申請としかつ活動報告をすることを条件に，承認された。
10. 都市計画専門委員会主催シンポジウムについて 資料 1-9  
都市計画専門委員会「シンポジウム」の開催について，承認された。
11. 常議員の役割担当および支部活動の活性化に向けた課題について 資料 1-10  
支部常議員の役割担当について，承認された。支部活動の活性化に向けた課題について説明があり，役割分担について承認された。各役割分担チームのリーダーを決める必要があるとの意見があった。
12. 第 33 回北海道建築作品発表会スケジュールについて 資料 1-11  
第 33 回北海道建築作品発表会のスケジュールについて，承認された。11/22(金)に北海道立近代美術館で実施される。
13. 特色ある支部活動の企画募集について 資料 1-12  
「2014 年度特色ある支部活動」助成について募集中（本部提出締切 9/30）であり積極的に応募してほしいこと，支部で選考はしないが応募内容は支部へ報告してほしい旨の説明があった。
14. 日本建築学会教育賞，文化賞，大賞候補業績の推薦依頼について 資料 1-13  
2014 年度日本建築学会教育賞（10/11 締切），文化賞（12/13 締切），大賞（1/20 締切）の候補業績の推薦依頼があった。候補業績があれば，担当委員会から岡田支部長および事務局にメールする。教育賞には，叙勲を受けた荒谷先生を推薦することも考えられる。
15. 後援依頼について 回覧資料  
（一社）北海道建築設計事務所協会からの「第 38 回北の住まい住宅設計コンペ」の後援依頼について，承認された。（公社）日本コンクリート工学会北海道支部からの「コンクリートの日 in HOKKAIDO 出前講座 大学から実務者へ～技術情報の発信と情報交換～」の後援

依頼について、承認された。

16. その他

山田委員（札幌市立大）、島田委員（岩田地崎建設）から自己紹介がなされた。2013年度日本建築学会大会北海道（建築雑誌7月号別刷）について事務局菊地から説明があった。

以上